

## 第 22 回高校生おのみち演劇祭 上演作品

### 【上演 1】無垢な殺し屋（広島県立三原高等学校定時制）



（作・三原高校定時制演劇部）

黒宮は 10 年前のテロ事件で家族を失った。その日から、テロ事件を起こした宗教団体フレヤに復讐するためだけに生きている。テロ事件の日、自分のことを助け、復讐のための全てを教えてくれた間野と共に、復讐代行人としての顔を持つ。ある日、黒宮のもとへ怪しい依頼が舞い込んでくる…。三原高校定時制による、ちょっと過激で複雑なシリアス作です。トップバッター頑張ります！

### 【上演 2】あなたがいなければ（広島県立尾道商業高等学校）



（作・宮本 陽奈子）

小さいころの夢は何でしたか？スポーツ選手やアイドルなどといった現実味のない夢ばかりだったのでは無いでしょうか？少し話は変わりますが、人生というものにはどんな人間に出会うかによって良くも悪くも大きく変わるものだと思います…。

あなたは今までどんな人に出会い、どんな人生を歩んできましたか？

### 【上演3】百合と十夜と百年の話（広島県立三原高等学校）★創作脚本賞



（作・浅海 花菜）

とある秋の日、探偵の黒澤と助手の関口のもとに一本の電話が入った。その電話を受けた黒澤は、関口と連れ立って、とある場所に向かう。この発端は数か月前、関口が夢の中で白い女性と出会ったことだった。ところで百年って長いのだろうか短いのだろうか。とんと見当がつかない。自分で考えてみたけど、やっぱりわからない。…皆さんはどう思われますか？なーんて頭の中で言っただってムダだよなあ…。

### 【上演4】六年と九ヶ月（広島県立尾道北高等学校）



（作・亀井 涼晴）

北海道の拘置所に配属になった看守は、過去7年間で3度の殺人を犯した死刑囚浜口洋介の担当となる。彼曰く、自分の人生は、死刑によって完成するらしい。彼と過ごす六年と九ヶ月の間で、浜口の過去が明らかになっていく。なぜ人を殺したのか……なぜ死刑にこだわるのか……彼の生き方は正しかったのか……。貴方は彼を理解できますか？

## 【上演5】明日、君を食べるよ（広島県立三原東高等学校）★優秀賞



（作・なるせゆうせい）

都会っ子でへそまがりな少年“さなぎ”は、母親の再婚を機に田舎へ引っ越してくるが、慣れない田舎暮らしに閉塞感を感じていた。しばらくして再婚相手の連れ子の“みぞれ”に連れられ1頭の牛の世話を始める。“うしのすけ”と名付けられた牛の世話に、最初は嫌がっていた“さなぎ”だが徐々に心を開いていく。その“うしのすけ”は、やがて食べられてしまう食肉用のウシとは知らずに……。

一人の少年と一頭の牛が織りなす命の物語。やがて、少年は「いただきます」の本当の意味を知る。

## 【上演6】戦国喫茶店（尾道学園 尾道中学・高等学校）★最優秀賞



（作・ハラダサトシ）

2018年7月6日金曜日、後に西日本豪雨と呼ばれる大災害の始まりとなる日。尾道市の商店街にある喫茶バンビーナに、さまざまな問題を抱えた人々が集まった。彼らの身の上起こる、衝撃の出来事とは？

現実逃避したい気持ちを必死に抑えながら一步踏み出そうとする、全ての人々に捧げる応援歌。あ、まちがえた、応援劇です！……ん？え？いや、そんなのある（笑）？